

静岡県月例経済報告

(令和3年9月号)

……令和3年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 545

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7
・生産面	15
・雇用面	17
・その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和3年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和3年7月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いている。

先行きについては、ワクチン接種が進むなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響に十分注意する必要があるほか、生産活動における部品供給停滞等の影響拡大への懸念が強まっている。

雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱い動きとなっている。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

（下線部は前月からの変更箇所）

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直しているが、弱い動きとなっている」

大型小売店販売額（7月）は、百貨店が前年実績を上回ったものの、スーパーが前年実績を下回ったため、総額では2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（7月）は、家電大型専門店、ホームセンターが前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア、ドラッグストアが前年実績を上回ったため、総額では2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車（新車）新規登録台数（7月）は、乗用車が前年実績を上回ったものの、軽自動車は前年実績を下回ったため、総数でも10か月ぶりに前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（7月）は、持家が前年実績を上回ったものの、貸家、分譲住宅が前年実績を下回ったため、6か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（7月）は、4か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観（6月調査）の令和3年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（7月）は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（7月）は、自動車²が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が6か月連続、エアコン、自動車の部分品、二輪自動車類⁵がいずれも5か月連続、科学光学機器が3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも11か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（7月）は、紙類及び同製品が8か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が2か月ぶり、木材が5か月連続、パルプが4か月連続、原動機が6か月連続、自動車の部分品が7か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,138億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（7月）は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が4か月連続、化学が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品が3か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械が11か月ぶり、輸送機械が2か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも5か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに下降した。

なお、鉱工業在庫指数（7月）は、総合では12か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる」

有効求人倍率（7月）は1.22倍で、前月を0.08ポイント上回り、2か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 0.4%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比 9.8%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（8月）は、件数は8件（前年同月比 42.8%減）、負債総額は8億3,500万円（同 56.2%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス>

企業の皆様、働く皆様へ

新型コロナウイルス感染症関連支援策

中小企業等応援金事業

緊急事態措置に伴う飲食店への休業・時短要請又は外出自粛等の影響により、売上が減少した県内中小企業等の事業継続を幅広く支援するため、**国の月次支援金に県独自の要件緩和や酒類事業者への上乗せ**を行います。

項目	一般枠 (国の月次支援金の要件緩和)	酒類事業者枠 (国の月次支援金の上乗せ等)
対象	次の(1)又は(2)に該当する中小法人・個人事業者(要件を満たせば、業種・地域は問わない) (1)飲食店への休業・時短要請の影響を受けているもの (2)外出自粛等の影響を受けているもの	酒類の提供停止要請に応じた飲食店との取引により影響を受けている酒類製造・販売事業者
要件	8月分は2021年8月、9月分は2021年9月の売上が、2019年又は2020年同月と比較して <u>30%以上50%未満</u> 減少していること	8月分は2021年8月、9月分は2021年9月の売上が、2019年又は2020年同月と比較して <u>30%以上</u> 減少していること 又は対象月とその前月の売上が2か月連続して <u>15%以上</u> 減少していること
給付額	対象月の売上減少額 法人：上限10万円 個人：上限5万円	対象月の売上減少額 (50%以上減少は国への上乗せ額) ・30%～50%未満 法人：上限20万円 個人：上限10万円 ・50%～70%未満 法人：上限20万円 個人：上限10万円 ・70%～90%未満 法人：上限40万円 個人：上限20万円 ・90%以上 法人：上限60万円 個人：上限30万円
申請期間	8月分：令和3年9月15日(水)～12月28日(火) ※オンライン申請は9月28日(火)～9月分：令和3年10月1日(金)～12月28日(火)	
申請先等	コールセンター：0120-880-380 (9:00～17:00 土日、祝日含む全日) ホームページ：https://shizuoka-ouenkin.com	

お問い合わせ先

静岡県中小企業等応援金事務局(午前9時～午後5時:土日祝含む)
(0120-880-380)

新型コロナウイルス感染症関連支援策は、経済産業部ホームページに掲載中です。

検索

静岡県新型コロナウイルス感染症関連支援策パンフレット

または



企業の皆様、働く皆様へ
(経済産業省)

参 考

中小法人・個人事業者のための月次支援金

緊急事態宣言に伴う飲食店の休業・時短営業や不要不急の外出自粛等の影響を受け、売上が50%以上減少した中小法人・個人事業者を支援します。

※支援金の詳細や最新情報は、月次支援金事務局ホームページをご確認ください。

項 目	内 容
給付対象	<p>以下の①と②をみたす事業者は、業種や地域を問わず給付対象となり得ます。</p> <p>①緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置に伴う飲食店の休業・時短営業又は外出自粛等の影響を受けていること※</p> <p>※2021年4月以降に実施される対象措置に伴う要請を受けて、休業又は時短営業を実施している飲食店と直接・間接の取引があること、または、これらの地域における不要不急の外出・移動の自粛による直接的な影響を受けていること</p> <p>②緊急事態宣言措置又はまん延防止等重点措置が実施された月のうち、措置の影響を受けて月間売上が2019年または2020年の同じ月と比べて50%以上減少</p>
給付額	<p>中小法人等 上限20万円/月 個人事業者等 上限10万円/月 (2019年または2020年の基準月の売上 - 2021年の対象月の売上)</p>
申請期間	<p>6月分 : 令和3年7月1日～8月31日 7月分 : 令和3年8月1日～9月30日 8月分 : 令和3年9月1日～10月31日 9月分 : 令和3年10月1日～11月30日</p>

お問い合わせ先

月次支援金事務局HPを御参照ください
<https://ichijishienkin.go.jp/>
(相談窓口(8時30分～19時) 0120-411-240)

企業の皆様、働く皆様へ

ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度 促進事業



「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」

感染拡大防止対策が充実している飲食店であることを、静岡県が現地確認を行った上で、認証するものです。認証された店舗には左の認証マーク（ステッカー）を交付します。また、認証店として専用ホームページで紹介합니다。

「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」の認証店及び認証の取得に取り組む店舗の感染防止対策を支援する補助事業を実施します。

補助対象者	「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」の認証店又は認証申請店
補助対象経費	新型コロナウイルス感染防止対策のため、設備や消耗品の購入等に要した費用 ・領収書に記載された支払日の期間が令和2年1月6日(月)から令和3年12月31日(金)までのもの ・体温測定器、CO ₂ 濃度測定器、換気装置、オゾン発生装置、パーティション、消毒液、マスク等の物品購入費や工事費等
補助率	10/10
補助上限額（下限無し）	申請施設の専用箇所のうち、利用客又は従業員が立ち入って使用することを想定した箇所の面積※に応じて設定されます。 ※他の施設との共有箇所、駐車場、倉庫、機械室、ゴミ置き場などを除く。 ①200㎡未満 10万円 ②200㎡以上400㎡未満 20万円 ③400㎡以上 30万円
申請期間	令和3年6月30日～令和4年1月21日 ※この期限以前に受付を終了することがあります。
申請先	・電子申請サイト（ https://fujinokuni-ninsho.jp ） ・書面申請は〒420-0853 静岡市葵区追手町2番12号 静岡安藤ハザマビル2F ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度事務局宛てに簡易書留で郵送してください。

お問い合わせ先

ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度事務局
（電話 0570-020-112） 平日8:30～17:15

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の利用状況

(R3年9月27日時点)

区分	申込状況			
	金額	件数	業種別の状況	
新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12~4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、 宿泊・旅行業3.5%等	
国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1~R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、 宿泊・旅行業1.3%等	
新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28~】	R 2	億円 447	件 1,268	製造業22.4%、卸小売業19.8%、建設業19.0%、飲食業5.4%、 宿泊・旅行業3.0%等
	R 3	億円 92	件 1,216	建設業32.7%、卸小売業16.6%、飲食業15.2%、製造業10.7%、 宿泊・旅行業1.7%等
新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別枠(新)【R3.4.1~】	億円 67	件 415	建設業22.9%、製造業21.7%、卸小売業17.8%、飲食業 14.9%、宿泊・旅行業2.4%等	
再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)(新)【R3.4.1~】	億円 3	件 12	製造業75.0%、運輸業25.0%、建設業0.0%、卸小売業0.0%、 飲食業0.0%、宿泊・旅行業0.0%等	
計	億円 11,007	件 64,735	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9~H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4~H24.3：1年間)	

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

区分	R2年 9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・ 漁・鉱業	21.7	15.2	19.0	▲26.8	▲5.1	▲18.9	10.1	41.2	▲17.0	▲10.3	47.3	0.6
建設業	▲3.0	6.8	▲1.1	6.9	17.6	15.9	12.5	16.1	2.0	4.8	7.1	13.7
製造業	▲30.5	▲31.3	▲19.8	▲21.7	▲10.2	1.2	13.8	20.8	51.6	51.5	55.8	70.3
卸売・小売業	▲28.3	▲28.7	▲29.2	▲18.7	▲6.1	▲17.9	▲7.7	▲3.6	▲3.9	18.2	17.4	4.5
金融、保険 不動産業	▲9.8	▲6.1	▲31.4	▲8.0	▲35.6	▲25.1	12.7	▲15.0	7.3	11.1	▲20.5	33.3
運輸業	▲31.7	▲26.4	▲14.7	▲31.6	▲18.7	▲15.7	▲3.3	▲13.8	▲3.2	▲0.5	13.4	▲0.1
情報通信業	▲4.4	▲22.4	▲31.8	10.3	▲2.5	5.7	64.5	▲11.5	16.5	16.6	9.0	23.5
飲食、宿泊 サービス業他	▲24.1	▲34.7	▲23.0	▲26.3	▲10.0	▲6.9	1.3	27.0	31.8	8.8	48.8	24.8
県全体	▲20.4	▲20.8	▲21.8	▲19.1	▲3.0	▲7.8	1.7	11.4	14.3	15.2	23.5	16.5

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R2年 9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0
建設業	2	2	3	4	3	3	2	5	3	2	4	3
製造業	6	2	4	5	3	1	10	0	4	4	2	0
卸売・小売業	0	3	5	2	4	2	4	6	1	1	1	1
金融、保険 不動産業	0	0	0	0	1	4	1	1	0	1	2	1
運輸業	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
情報通信業	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	4	3	3	7	3	3	1	4	6	3	3	3
県全体	13	11	16	19	15	13	18	18	15	13	13	8
うちコロナ 関連倒産	4	4	3	4	4	5	5	3	4	4	4	0

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7月 = 36,878百万円

*前年同月比： 0.1%減

(県内3百貨店、151スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は36,878百万円で、前年同月比 0.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.0%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、スーパー（同 0.3%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 3.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、身の回り品（同 9.5%減）が2か月連続、飲食料品（同 0.4%減）が2か月ぶり、家庭用品（同 1.3%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.2%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	44,703	37,063	33,018	35,990	34,190	35,975	35,897	36,878
前年同月比(%)	▲1.1	▲1.0	▲3.6	▲0.4	8.1	3.6	▲1.8	▲0.1
うち百貨店(%)	▲6.9	▲19.9	▲8.1	15.4	125.2	74.5	2.4	1.0
スーパー(%)	0.5	3.7	▲2.7	▲3.0	▲0.5	▲2.6	▲2.6	▲0.3
(参考1)全国前年同月比(%)	▲3.5	▲7.2	▲4.7	3.0	15.5	5.7	▲2.2	1.3
うち百貨店(%)	▲13.0	▲28.8	▲10.2	21.8	158.3	61.9	▲1.6	4.6
スーパー(%)	1.6	3.1	▲2.6	▲2.7	▲0.9	▲1.9	▲2.5	0.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.2	1.4	▲1.0	1.5	8.7	4.3	▲0.5	1.2

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲14.2	▲29.2	▲14.2	7.2	109.5	28.7	▲13.2	3.8
うち紳士服・洋品	▲22.9	▲36.7	▲25.2	▲3.6	78.4	▲0.7	▲25.3	3.4
婦人・子供服・洋品	▲11.6	▲27.5	▲10.9	12.2	130.1	42.4	▲8.2	2.1
身の回り品	▲2.6	▲18.6	▲7.1	19.8	108.0	58.8	▲4.9	▲9.5
飲食料品	1.4	4.5	▲1.7	▲2.5	▲1.5	▲0.8	0.8	▲0.4
家庭用品	▲8.6	▲7.7	▲12.3	▲6.5	5.9	▲1.7	▲16.2	▲1.3
うち家庭用電気機械器具	13.4	7.7	▲0.7	0.2	6.3	▲3.6	▲20.9	▲6.9

(注)店舗数調整済、全月速報値

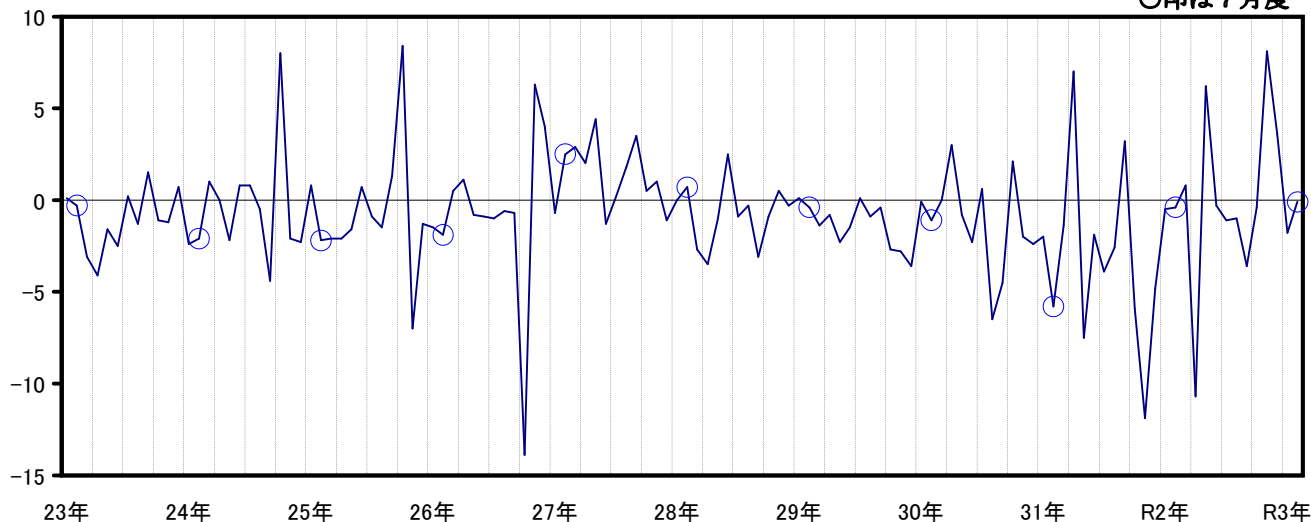
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(2) 専門量販店等販売額

7月 = 77,319百万円

*前年同月比： 2.0%増

(県内91家電大型専門店、1,684コンビニエンスストア、539ドラッグストア、106ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は77,319百万円で、前年同月比 2.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 9.4%減）が2か月連続、ホームセンター（同 2.1%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア（同 5.4%増）が5か月連続、ドラッグストア（同 5.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額（百万円）	81,579	70,393	64,036	74,321	70,408	73,497	71,230	77,319
前年同月比（%）	4.8	4.0	▲ 4.5	3.7	1.7	1.3	▲ 3.3	2.0
うち 家電大型専門店（%）	17.8	18.6	8.4	10.5	9.7	3.4	▲ 22.7	▲ 9.4
コンビニエンスストア（%）	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 7.6	5.4	5.5	4.0	0.3	5.4
ドラッグストア（%）	7.7	5.8	▲ 6.4	1.2	▲ 2.7	2.6	4.4	5.0
ホームセンター（%）	9.9	14.8	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 3.7	▲ 10.4	▲ 10.8	▲ 2.1
(参考)全国前年同月比（%）	3.4	2.1	▲ 4.2	2.7	4.8	2.0	▲ 4.6	2.1

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

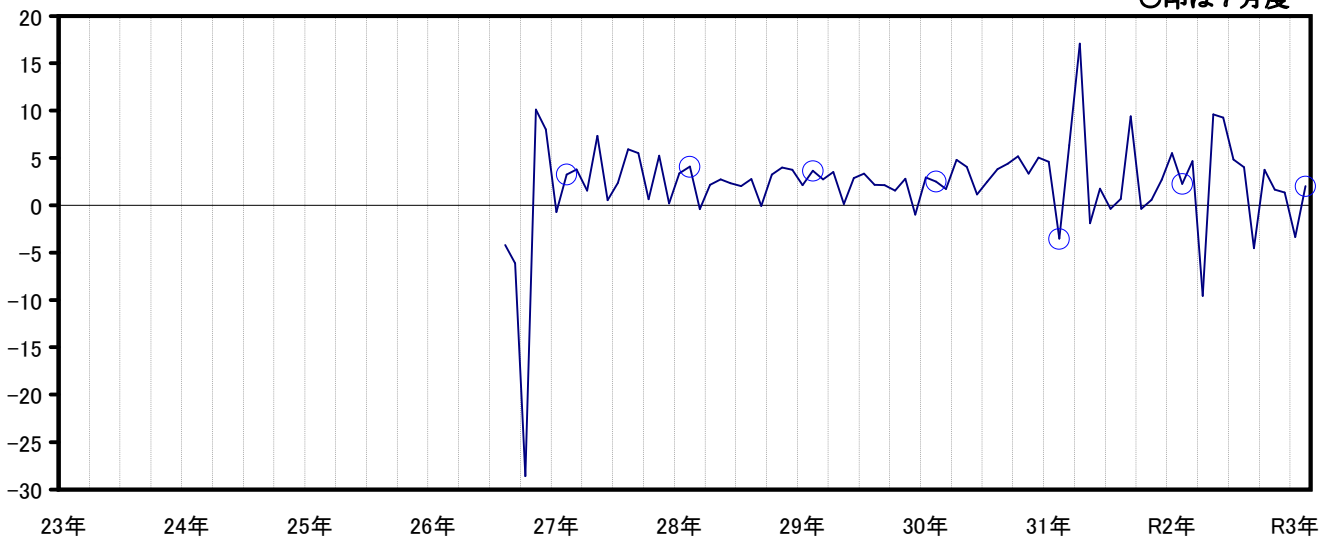
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は7月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**7月 = 13,429 台**

*前年同月比： 3.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は13,429台(前年同月比 3.2%減)と、10か月ぶりに前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 2.5%増)が5か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 9.2%減)が10か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	13,824	14,779	16,244	21,764	12,497	10,774	12,350	13,429
前年同月比(%)	16.3	7.2	1.9	6.9	33.8	45.8	5.0	▲ 3.2
(参考)全国前年同月比(%)	10.9	7.8	0.0	5.2	31.5	50.0	4.5	▲ 6.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

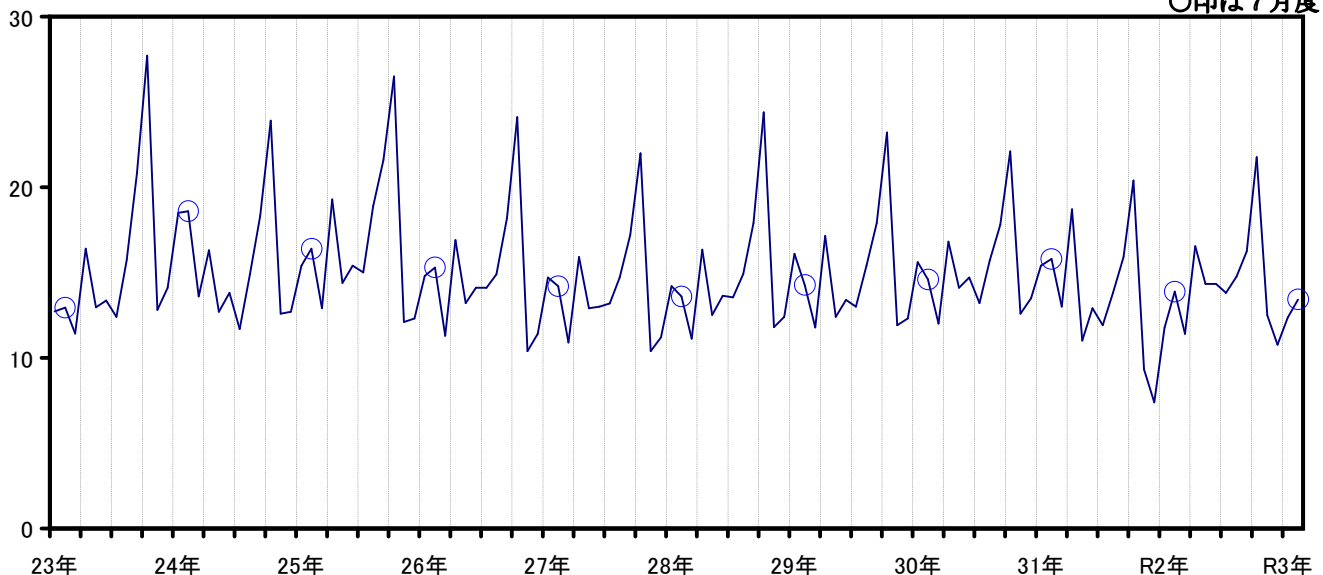
(単位：%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	16.3	7.2	1.9	6.9	33.8	45.8	5.0	▲ 3.2
乗用車	18.1	11.2	▲ 0.1	1.7	31.5	27.7	4.4	2.5
軽自動車	14.1	3.0	4.0	12.9	36.4	69.1	5.6	▲ 9.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は7月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,632 戸

*前年同月比： 14.2%減

<概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,632戸で、前年同月比 14.2%減と、6か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 5.2%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 31.1%減）が6か月ぶり、分譲住宅（同 34.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数 (戸)	1,780	1,665	1,625	1,648	1,931	1,775	1,831	1,632
前年同月比 (%)	▲ 5.4	▲ 7.1	16.8	1.5	8.9	15.2	2.3	▲ 14.2
うち持家 (%)	▲ 0.6	▲ 3.4	12.6	▲ 8.2	6.7	24.9	7.0	5.2
貸家 (%)	▲ 16.0	▲ 18.5	17.3	28.3	21.0	3.4	4.9	▲ 31.1
分譲住宅 (%)	4.3	15.0	29.7	▲ 3.7	▲ 3.6	18.3	▲ 15.4	▲ 34.2
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 9.0	▲ 3.1	▲ 3.7	1.5	7.1	9.9	7.3	9.9

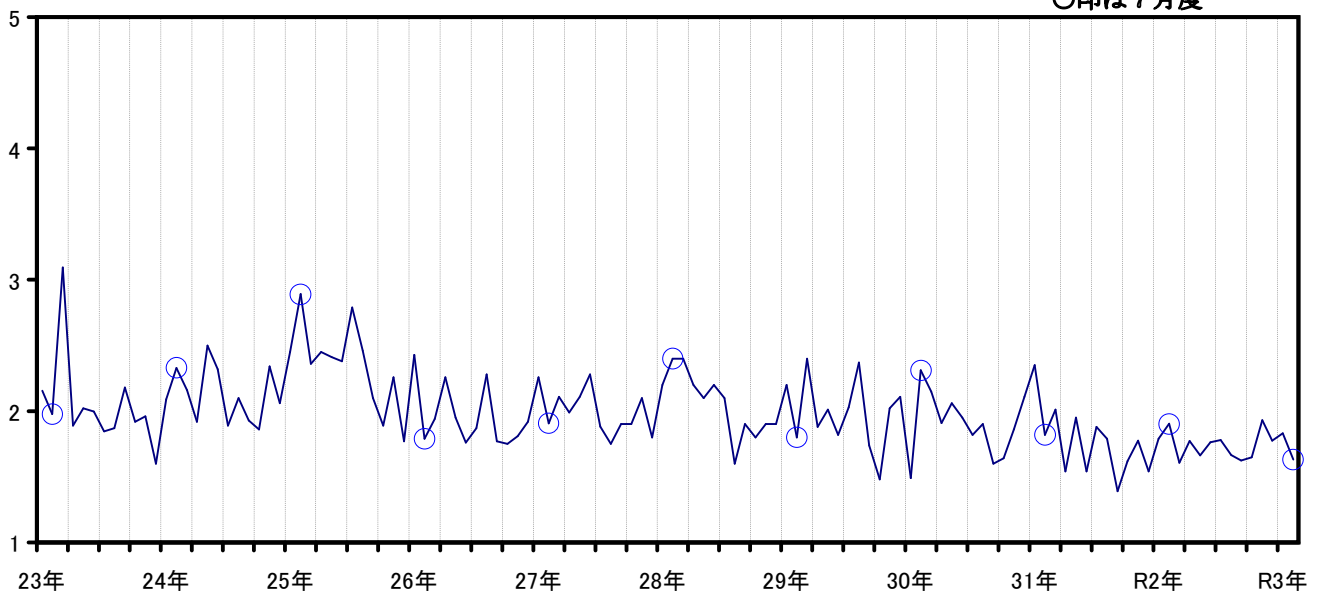
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は7月度



3 公共工事請負金額

7月 = 35,953百万円

*前年同月比：12.8%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は35,953百万円で、前年同月比12.8%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は843件で、前年同月比1.6%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額(百万円)	15,521	9,524	7,517	21,866	56,596	41,641	41,156	35,953
前年同月比(%)	1.1	▲33.9	▲45.9	3.3	▲17.5	▲19.9	▲33.3	▲12.8
年度累計前年同月比(%)	3.2	1.8	0.0	0.2	▲17.5	▲18.5	▲23.5	▲21.6
件数(件)	511	253	158	460	687	596	775	843
前年同月比(%)	▲6.2	▲34.3	▲46.8	21.7	3.5	20.6	6.6	▲1.6
年度累計前年同月比(%)	1.3	▲0.7	▲2.5	▲1.3	3.5	10.8	9.2	5.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	200.2	▲32.9	▲37.7	▲21.2	56.5	37.3	▲9.3	▲9.1
独立行政法人等	▲60.2	▲91.2	-	23.7	▲51.9	▲47.4	▲72.3	▲49.2
県	27.6	▲30.2	▲39.1	40.7	▲17.5	7.7	11.6	14.5
市町	▲5.3	▲36.0	▲48.7	▲5.6	▲20.4	▲10.6	▲21.4	▲20.0
地方公社	-	-	-	-	1,120.8	-	-	▲23.3
その他	▲68.0	35.8	▲27.4	1,387.2	22.8	▲64.2	▲30.4	▲6.7

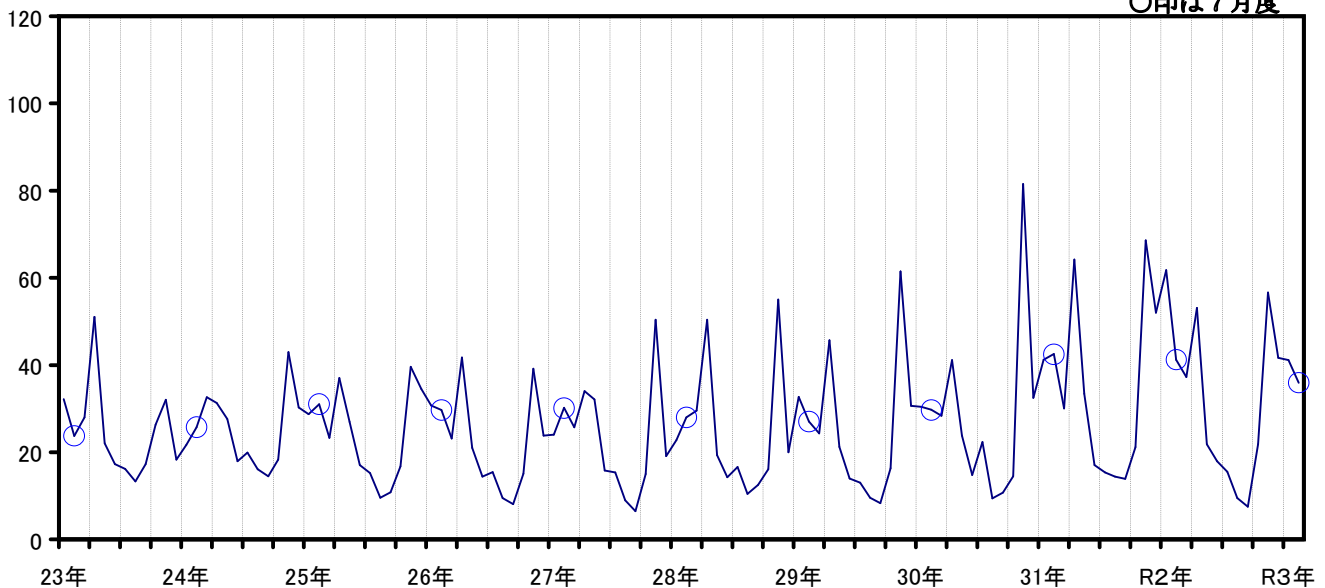
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は7月度



4 設備投資

<概況>

令和2年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少した。

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.9%増）、非製造業（同 2.8%増）、全産業（同 13.1%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.2%増）、非製造業（同 6.7%増）、全産業（同 12.0%増）においていずれも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は108,318㎡で、前年同月比 18.4%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	(▲4.3) ▲10.8	(0.4) 13.1
	全国	(▲3.2) ▲8.5	(3.2) 7.1
製造業	県	(▲10.8) ▲17.2	(1.7) 24.9
	全国	(▲4.6) ▲10.0	(3.4) 11.5
非製造業	県	(2.1) ▲4.3	(▲0.9) 2.8
	全国	(▲2.4) ▲7.5	(3.1) 4.5

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	(▲3.8) ▲7.6	(0.8) 12.0
	全国	(▲3.6) ▲8.5	(3.0) 9.3
製造業	県	(▲5.9) ▲8.3	(1.5) 14.2
	全国	(▲3.2) ▲7.7	(3.5) 10.4
非製造業	県	(1.6) ▲5.8	(▲1.1) 6.7
	全国	(▲4.1) ▲9.4	(2.4) 8.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和3年6月調査）」

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	57,195	70,088	69,047	117,345	93,072	66,308	114,873	108,318
前年同月比（%）	▲56.4	6.7	1.4	32.3	5.2	▲42.1	▲10.1	▲18.4
（参考）全国前年同月比（%）	▲14.8	13.2	▲7.2	14.9	3.0	4.9	12.6	5.9

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D.I.>

		R3年3月	R3年6月	R3年9月 (予測)
全産業	全産業	▲8	▲5	▲3
	製造業	▲4	▲2	▲1
	非製造業	▲13	▲9	▲4
（参考）全国・全産業		▲8	▲3	▲5

（注4）業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年6月調査）」

5 輸出

7月 = 215,513百万円

*前年同月比： 51.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は215,513百万円で、前年同月比 51.2%増となり、11か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 41.5%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 64.2%増）が6か月連続、エアコン（同 65.3%増）、自動車の部分品（同 109.5%増）、二輪自動車類（同 83.3%増）がいずれも5か月連続、科学光学機器（同 48.9%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（前年同月比 50.2%増）が11か月連続、米国向け（同 81.0%増）が4か月連続、EU向け（同 4.8%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	209,438	168,601	194,233	221,606	202,397	198,629	217,026	215,513
前年同月比(%)	12.0	8.9	9.2	22.5	37.2	93.3	73.4	51.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	28.7	▲ 15.9	11.8	23.4	75.0	181.6	140.4	64.2
エアコン	31.3	33.4	▲ 1.9	18.9	21.9	211.2	90.9	65.3
自動車	27.0	▲ 7.2	20.8	44.5	250.5	407.7	▲ 41.6	▲ 41.5
自動車の部分品	7.8	▲ 4.3	▲ 2.9	3.3	13.1	85.9	103.2	109.5
二輪自動車類	▲ 30.3	▲ 19.2	▲ 11.2	34.2	71.7	322.1	211.1	83.3
科学光学機器	30.1	18.6	▲ 4.1	▲ 4.7	9.2	▲ 6.4	▲ 3.3	48.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	20.8	27.8	21.2	32.5	33.7	49.6	70.2	50.2
米国	7.6	▲ 4.1	▲ 8.7	▲ 5.9	16.3	115.3	105.2	81.0
EU	14.4	▲ 3.5	12.6	43.3	76.0	207.4	49.8	4.8

<資料>清水税関支署

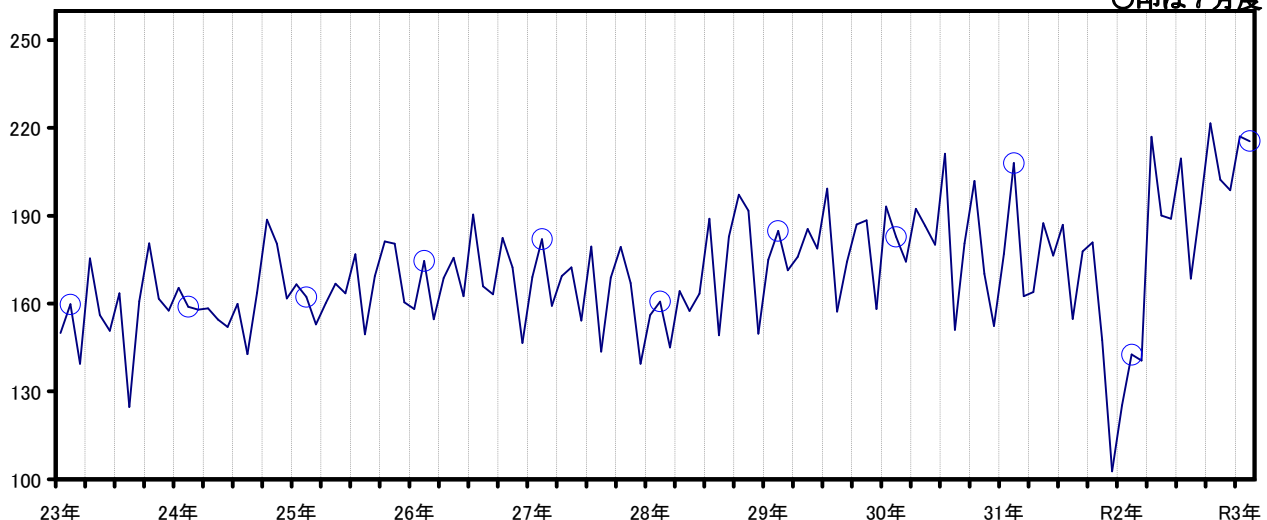
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は7月度



6 輸入

7月 = 101,709百万円

*前年同月比： 41.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は101,709百万円で、前年同月比 41.1%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 18.4%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 22.3%増）が2か月ぶり、木材（同 24.8%増）が5か月連続、パルプ（同 39.1%増）が4か月連続、原動機（同 86.4%増）が6か月連続、自動車の部分品（同 54.6%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジア向け（前年同月比 36.2%増）が6か月連続、米国向け（同 42.8%増）が2か月連続、EU向け（同 17.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	82,321	80,566	80,035	106,941	101,089	93,740	99,667	101,709
前年同月比(%)	2.0	▲11.3	20.1	19.8	15.3	23.5	33.4	41.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	▲3.4	12.5	0.4	25.0	9.9	17.0	▲21.9	22.3
木材	▲9.6	▲42.8	▲14.7	14.0	6.7	5.8	8.1	24.8
パルプ	11.0	▲0.3	▲6.5	▲20.1	24.0	43.2	19.0	39.1
紙類及び同製品	▲19.6	▲44.9	▲38.4	▲22.5	▲16.0	▲10.3	▲14.5	▲18.4
原動機	67.3	▲5.1	61.1	22.9	10.0	52.6	44.8	86.4
自動車の部分品	▲3.9	44.0	16.5	34.6	13.5	67.0	136.0	54.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

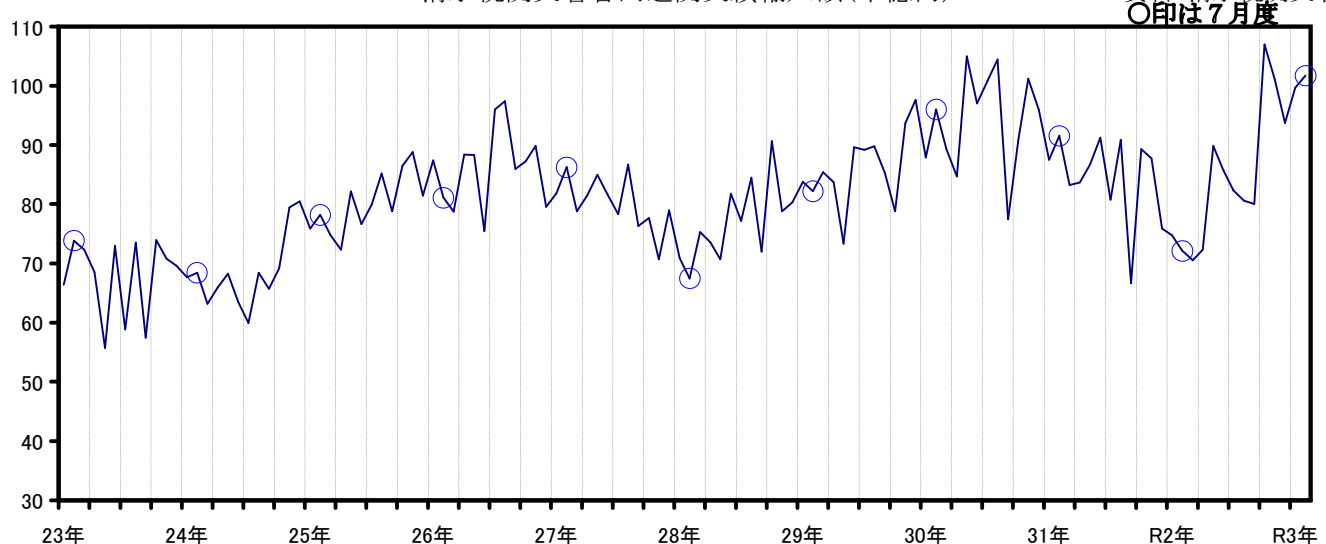
	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	▲1.1	▲9.5	35.8	28.2	21.0	35.7	41.2	36.2
米国	10.9	▲16.0	62.3	▲6.9	17.2	▲38.9	1.3	42.8
EU	14.5	4.9	▲16.7	19.2	▲11.8	21.9	▲12.1	17.4

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

7 月 = 87.8

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.9%減

*前年同月比(原指数) : 2.5%減

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は87.8(季節調整済指数)で、前月比は0.9%減と、2か月ぶりに下降した。また、前年同月比(原指数)は2.5%減と、5か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 22.0%増)が4か月連続、化学(同 1.7%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 5.6%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同 3.8%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同 11.3%減)が11か月ぶり、輸送機械(同 16.1%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指 数	93.6	94.8	90.8	96.2	99.2	85.3	88.6	87.8
前 月 比 (%)	1.0	1.3	▲ 4.2	5.9	3.1	▲ 14.0	3.9	▲ 0.9
前 年 同 月 比 (%)	▲ 2.6	▲ 8.3	▲ 3.9	4.3	31.5	21.2	8.0	▲ 2.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.9	▲ 5.3	▲ 2.0	3.4	15.8	21.1	23.0	11.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 17.9	▲ 12.7	5.7	▲ 0.3	24.4	11.8	17.3	22.0
電 気 機 械 工 業	5.5	9.6	7.1	12.6	35.9	25.7	21.3	▲ 11.3
輸 送 機 械 工 業	1.2	▲ 7.1	▲ 6.5	6.3	101.8	64.6	▲ 3.9	▲ 16.1
化 学 工 業	▲ 7.0	▲ 19.3	▲ 8.5	1.8	10.4	▲ 4.4	4.4	1.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 3.6	0.5	▲ 0.3	1.7	3.2	5.6
食料品・たばこ工業	▲ 2.2	▲ 13.9	▲ 15.0	▲ 1.7	1.9	4.6	▲ 0.3	3.8

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

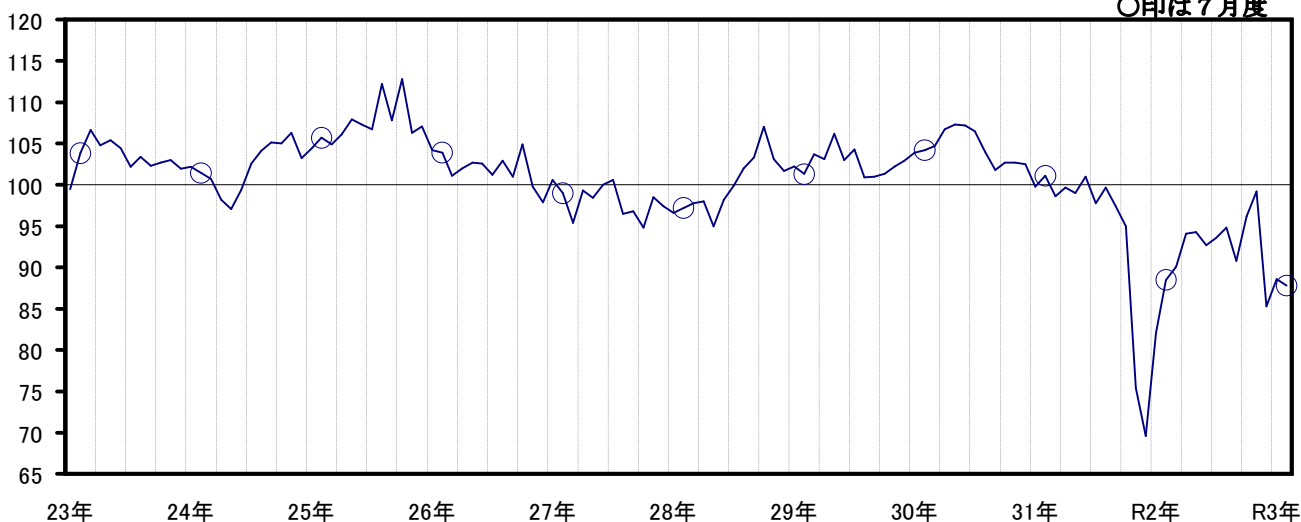
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は7月度



(2) 鋳工業在庫指数

7 月 = 99.9

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 1.6%減

* 前年同月比(原指数) : 7.4%減

<概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は99.9(季節調整済指数)で、前月比は1.6%減と、3か月連続で下降した。また、前年同月比(原指数)は7.4%減と、12か月連続で前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比 8.2%増)が3か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 9.9%減)が8か月連続、輸送機械(同 16.1%減)、パルプ・紙・紙加工品(同 2.4%減)がいずれも2か月連続、化学(同 7.8%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同 12.2%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指 数	104.3	105.2	104.0	101.9	105.6	102.7	101.5	99.9
前 月 比 (%)	0.3	0.9	▲ 1.1	▲ 2.0	3.6	▲ 2.7	▲ 1.2	▲ 1.6
前 年 同 月 比 (%)	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 4.2	▲ 4.1	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 3.7	▲ 7.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 8.4	▲ 10.2	▲ 9.5	▲ 9.8	▲ 9.8	▲ 8.7	▲ 5.0	▲ 4.5

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 12.3	▲ 16.6	▲ 14.9	▲ 0.1	▲ 10.1	▲ 9.9
電 気 機 械 工 業	▲ 3.4	▲ 3.2	8.3	17.8	5.5	▲ 3.3	▲ 1.3	8.2
輸 送 機 械 工 業	27.3	22.0	0.0	6.6	87.9	11.9	▲ 3.1	▲ 16.1
化 学 工 業	▲ 18.6	▲ 22.9	1.1	▲ 3.1	▲ 9.9	▲ 16.7	▲ 9.3	▲ 7.8
パルプ・紙・紙加工品工業	3.4	▲ 5.2	▲ 1.0	8.0	7.4	0.3	▲ 5.2	▲ 2.4
食料品・たばこ工業	▲ 6.8	▲ 7.3	▲ 11.2	▲ 15.7	▲ 16.3	▲ 7.2	0.2	▲ 12.2

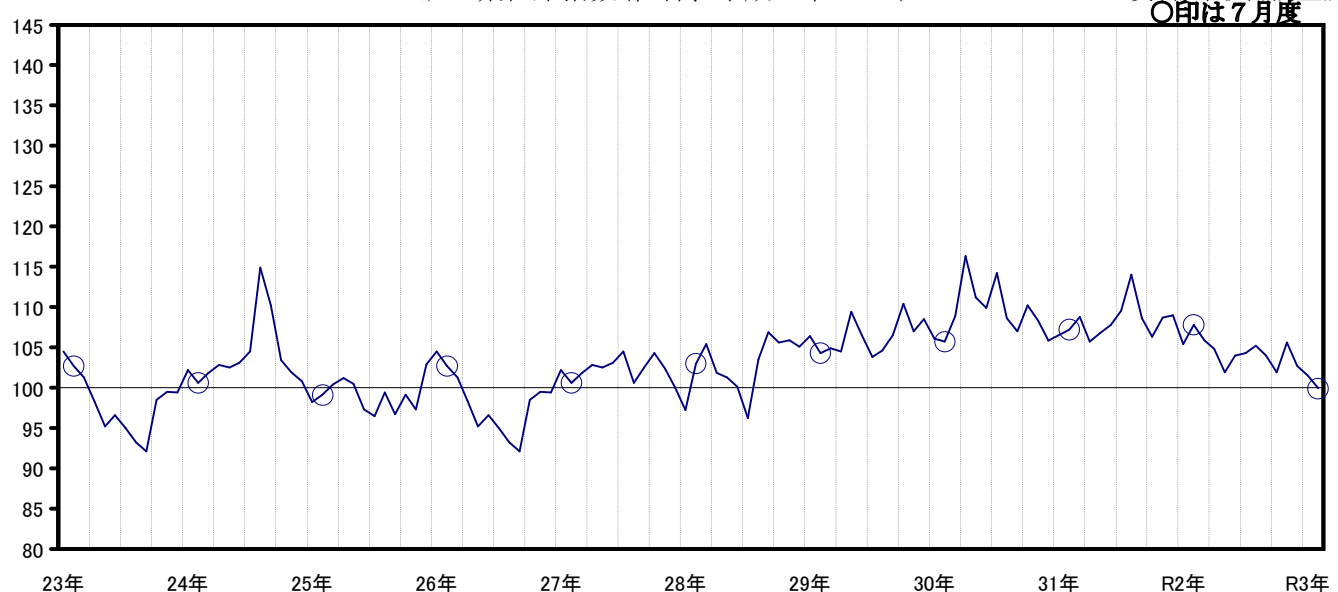
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7 月 = 1.22倍

*前月比 (季節調整値) : 0.08ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

7月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.22倍となり、前月を0.08ポイント上回った。6か月連続で1倍台となった。また、2か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比29.7%増)は4か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比0.5%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同7.4%増)が10か月連続、製造業(同60.5%増)が6か月連続、運輸業・郵便業(同24.9%増)が19か月ぶり、卸売業・小売業(同24.4%増)が2か月連続、医療・福祉(同11.4%増)が5か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同91.1%増)が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	0.92	0.98	1.00	1.01	1.01	1.08	1.14	1.22
全 国	1.05	1.10	1.09	1.10	1.09	1.09	1.13	1.15

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	4.9	22.6	17.2	14.9	13.6	0.9	7.5	7.4
製造業	▲21.6	▲13.0	0.4	7.8	18.4	55.2	49.8	60.5
情報通信業	▲17.7	▲7.2	▲1.7	44.2	▲18.1	10.2	▲1.0	▲0.5
運輸業・郵便業	▲33.1	▲18.3	▲16.4	▲6.9	▲12.1	▲6.2	▲3.8	24.9
卸売業・小売業	▲15.4	▲2.6	▲13.0	▲9.2	11.1	▲6.9	22.6	24.4
医療・福祉	▲14.3	▲0.2	▲11.7	4.9	3.9	6.4	9.1	11.4
サービス業(他に分類されないもの)	▲29.0	▲10.2	12.3	14.1	31.1	35.1	43.4	91.1
合計	▲19.2	▲4.7	▲4.9	▲0.7	12.1	13.0	16.7	29.7

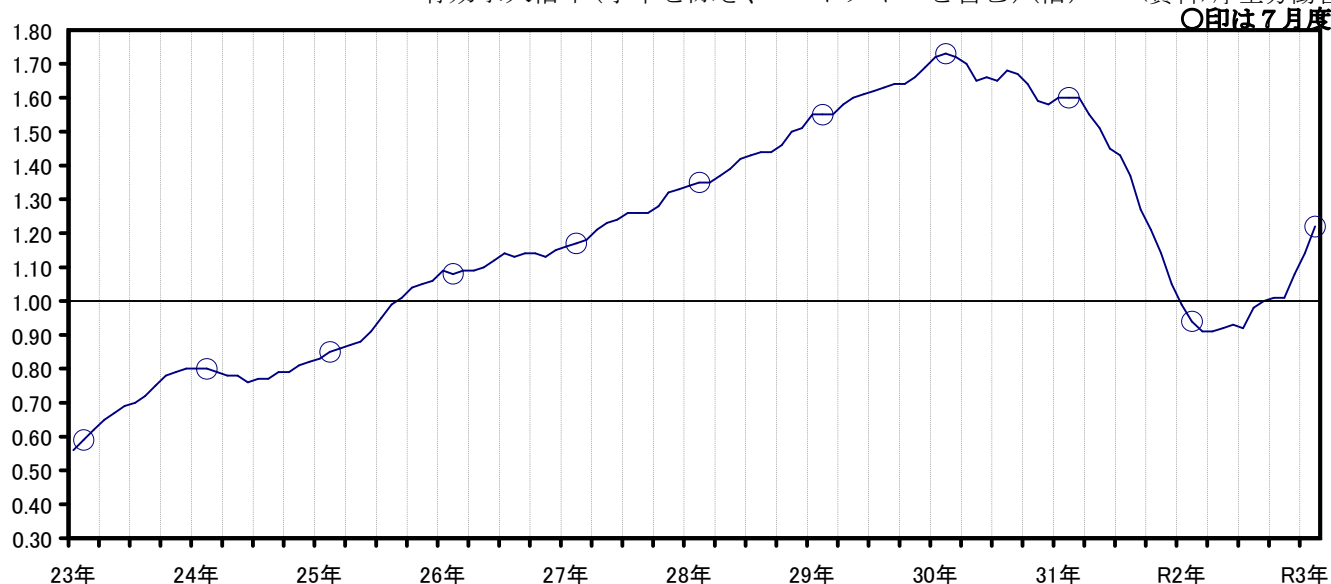
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 13,183人

*前月比: 2.4%増

*前年同月比: 18.6%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は13,183人で、前月比は2.4%増と、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は18.6%減と2か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.8%と前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(令和3年4~6月)の完全失業率は2.6%で、前期(令和3年1~3月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	13,707	13,345	12,505	12,526	12,153	12,079	12,876	13,183
前月比(%)	▲6.3	▲2.6	▲6.3	0.2	▲3.0	▲0.6	6.6	2.4
前年同月比(%)	28.4	24.5	23.3	22.9	23.0	3.7	▲9.2	▲18.6
(参考)全国前年同月比(%)	21.7	16.9	22.0	23.1	23.6	8.4	▲1.8	▲9.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	3.0	2.9	2.9	2.6	2.8	3.0	2.9	2.8

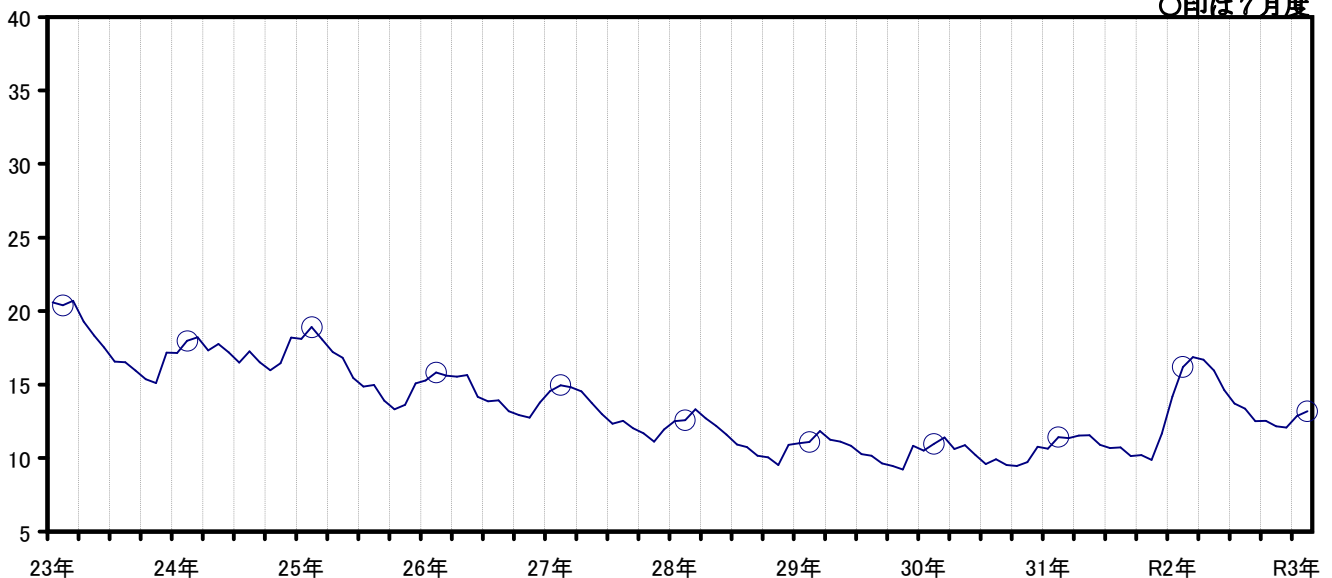
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は7月度



(3) 所定外労働時間指数

6月 = 80.5

*前月比(季節調整済指数): 3.6%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 29.3%増

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は80.5(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は29.3%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比 27.2%減)が19か月連続、卸売業・小売業(同 3.1%減)が2か月ぶり、医療・福祉(同 7.1%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同 13.6%増)が2か月連続、製造業(同 39.2%増)が3か月連続、運輸業・郵便業(同 51.2%増)が3か月連続、その他のサービス業(同 80.3%増)が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	74.9	74.9	77.3	71.1	80.1	82.1	77.7	80.5
前月比(%)	4.5	0.0	3.2	▲8.0	12.7	2.5	▲5.4	3.6
前年同月比(%)	▲10.3	▲11.2	▲10.6	▲16.0	▲8.0	13.4	35.5	29.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲9.5	▲6.5	▲6.8	▲8.3	0.9	15.2	28.9	22.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年11月	12月	R3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	2.7	9.9	▲42.0	▲60.7	▲29.3	▲19.5	39.4	13.6
製造業	▲8.1	▲13.8	▲11.3	▲10.5	▲7.7	22.7	73.6	39.2
情報通信業	▲17.1	▲17.5	▲23.7	▲32.3	▲32.6	▲15.5	▲19.8	▲27.2
運輸業・郵便業	▲27.9	▲30.0	23.6	▲4.3	▲5.7	10.7	18.7	51.2
卸売業・小売業	▲22.7	▲23.5	▲25.1	▲20.6	▲20.8	▲20.7	1.6	▲3.1
医療・福祉	24.1	16.9	▲5.8	▲18.6	▲19.4	0.0	▲9.2	▲7.1
その他のサービス業	▲9.6	13.0	28.8	41.3	76.8	108.9	87.0	80.3
調査産業計	▲10.3	▲11.2	▲10.6	▲16.0	▲8.0	13.4	35.5	29.3

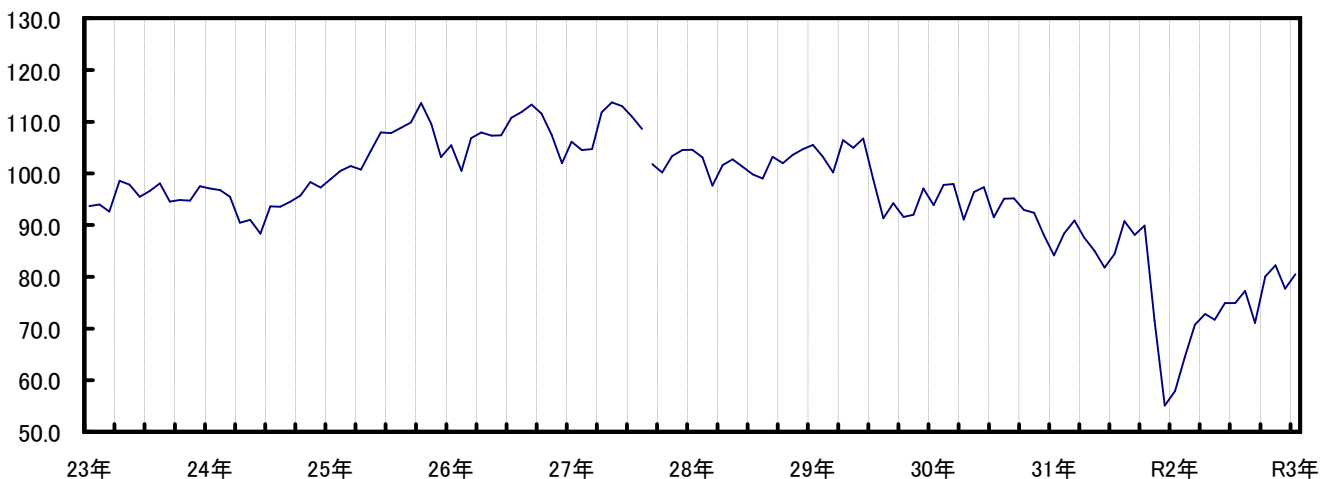
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

8 月 = 105.8

*前 月 比: 0.0%上昇

*前年同月比: 5.5%上昇

(平成27年=100)

<概 況>

8月の国内企業物価指数は105.8となり、前月と同水準であった。また、前年同月比は5.5%の上昇となった。

<最近の動き>

	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	100.9	101.4	102.4	103.3	104.0	104.7	105.8	105.8
前 月 比 (%)	0.6	0.5	1.0	0.9	0.7	0.7	1.1	0.0
前年同月比 (%)	▲ 1.5	▲ 0.6	1.2	3.7	4.9	5.0	5.6	5.5

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 143,740億円

*前 月 比: 0.2%減

*前年同月比: 0.4%減

(銀行、信用金庫)

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,740億円で、前月比は0.2%の減少となった。また、前年同月比は0.4%の減少となった。

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	145,170	145,997	145,349	145,359	144,888	144,230	143,987	143,740
前 月 比 (%)	▲ 0.1	0.6	▲ 0.4	0.0	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.2
前年同月比 (%)	7.3	7.2	6.5	6.3	5.6	4.2	0.9	▲ 0.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 1.409%

*前 月 差: 0.007ポイント減

*前年同月差: 0.056ポイント減

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.409%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.056ポイントのマイナスとなった。

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利 (%)	1.446	1.435	1.434	1.430	1.425	1.420	1.416	1.409
前月差(ポイント)	▲ 0.002	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.005	▲ 0.005	▲ 0.004	▲ 0.007
前年同月差(ポイント)	▲ 0.104	▲ 0.096	▲ 0.094	▲ 0.092	▲ 0.075	▲ 0.065	▲ 0.066	▲ 0.056

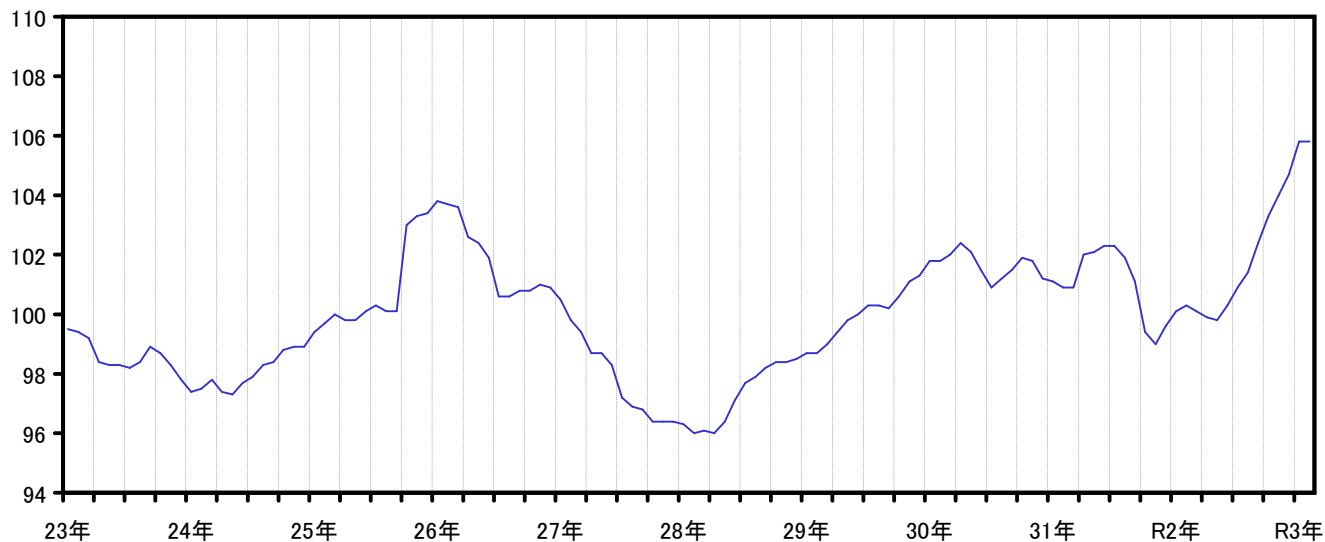
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

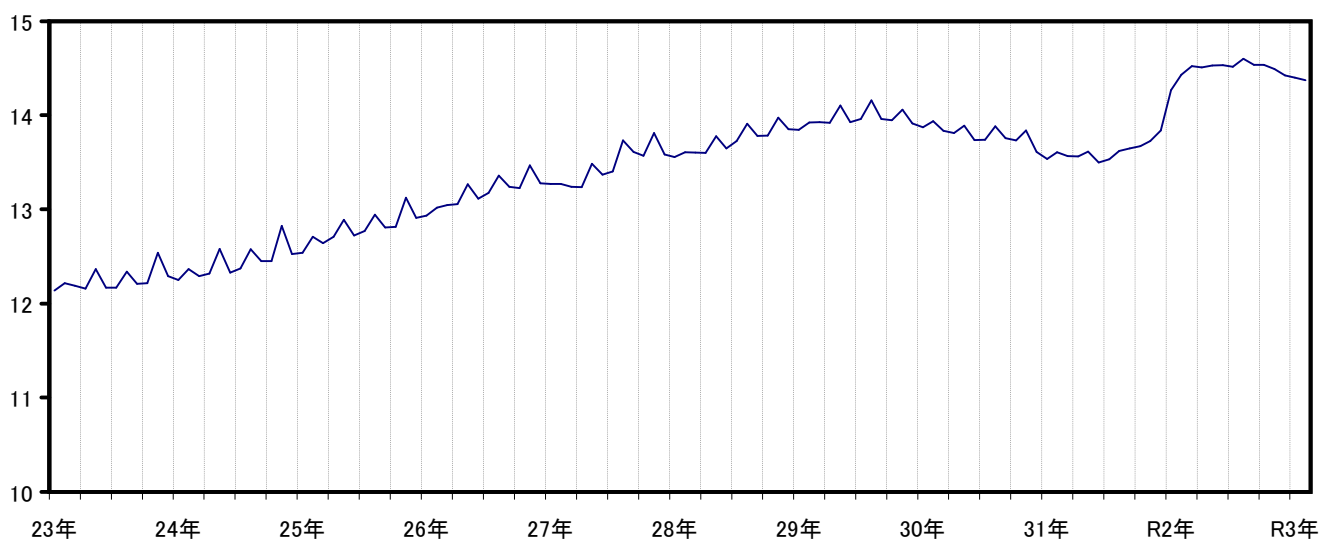
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



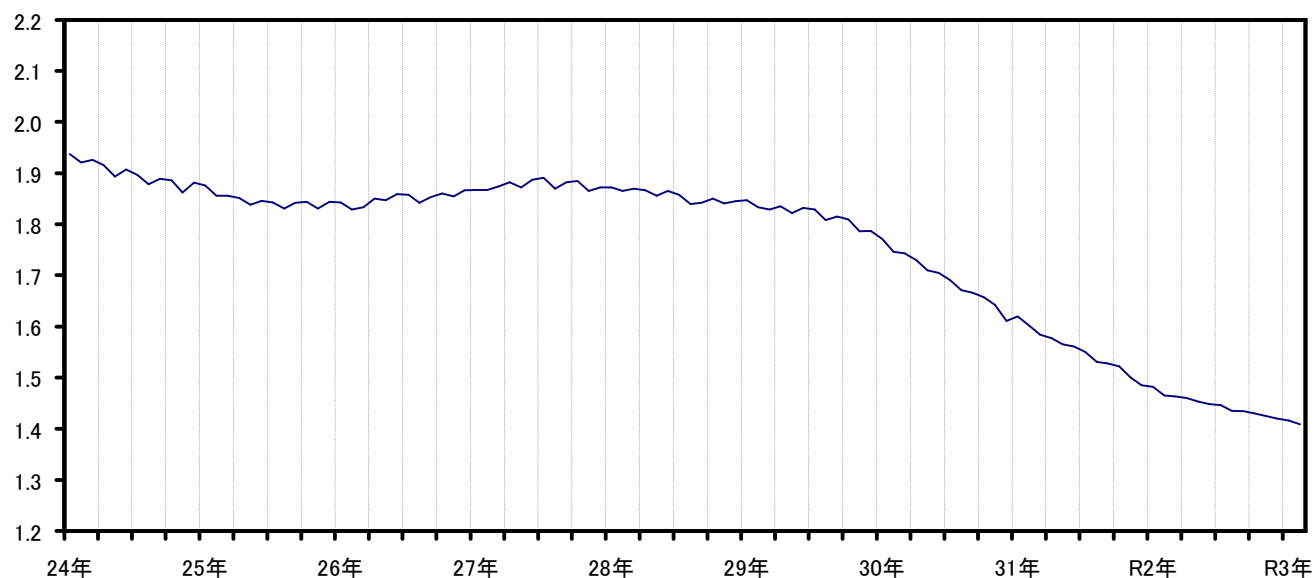
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**7月 = 14,174百万円**

*前年同月比： 9.8%増

<概況>

7月の保証承諾は、金額は14,174百万円（前年同月比 9.8%増）、件数は1,405件（同 13.6%増）と、いずれも17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	56,544	29,352	74,214	119,708	35,272	12,187	14,632	14,174
前年同月比（%）	280.9	210.0	500.4	415.4	26.7	7.1	8.4	9.8
保証件数（件）	5,220	2,769	5,337	7,953	2,794	1,197	1,527	1,405
前年同月比（%）	257.4	195.6	344.3	308.0	45.4	14.0	12.6	13.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**8月 = 109.84円/ドル**

*前月差： 0.45円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 3.80円安

<概況>

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.84円で、前月と比べて0.45円の円高となり、7か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	103.70	105.36	108.65	109.13	109.19	110.11	110.29	109.84
前月差（円）	▲ 0.12	1.66	3.29	0.48	0.06	0.92	0.18	▲ 0.45
前年同月差（円）	▲ 5.64	▲ 4.60	1.36	1.20	1.88	2.55	3.51	3.80

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****8月 = 8件**

*前年同月比： 42.8%減

<概況>

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は8件（前年同月比 42.8%減）、負債総額は835百万円（同 56.2%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が4件と全体の50.0%を占め、285か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

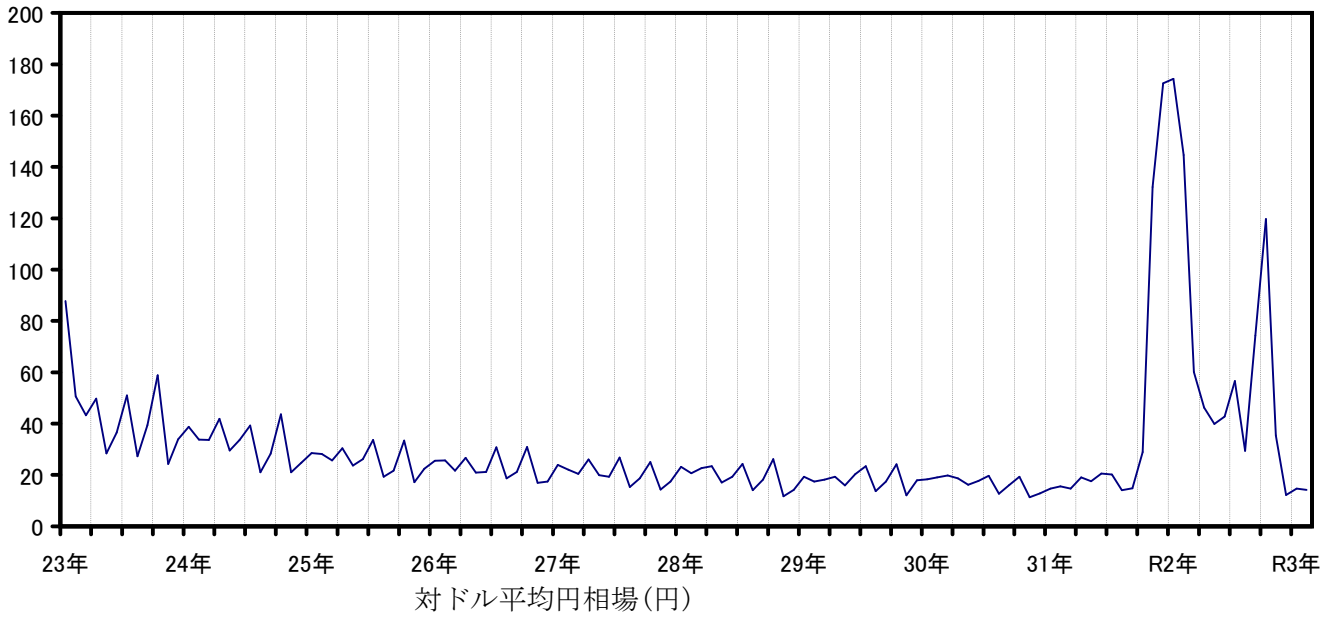
	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	15	13	18	18	15	13	13	8
前年同月比（%）	▲ 16.6	18.1	0.0	▲ 25.0	36.3	▲ 59.3	▲ 18.7	▲ 42.8
うち不況型倒産件数(件)	13	13	15	16	12	11	12	4
負債総額（百万円）	14,979	3,149	2,844	3,029	2,492	1,544	1,263	835
前年同月比（%）	151.9	117.4	25.2	▲ 59.5	49.3	▲ 35.6	▲ 27.0	▲ 56.2

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

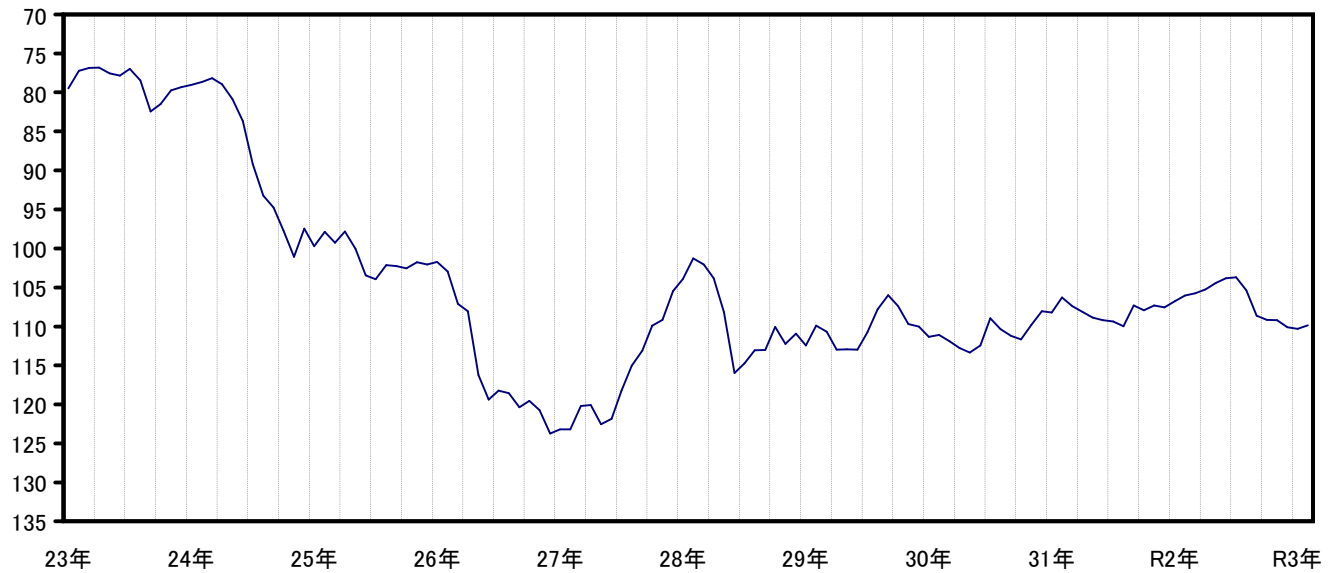
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

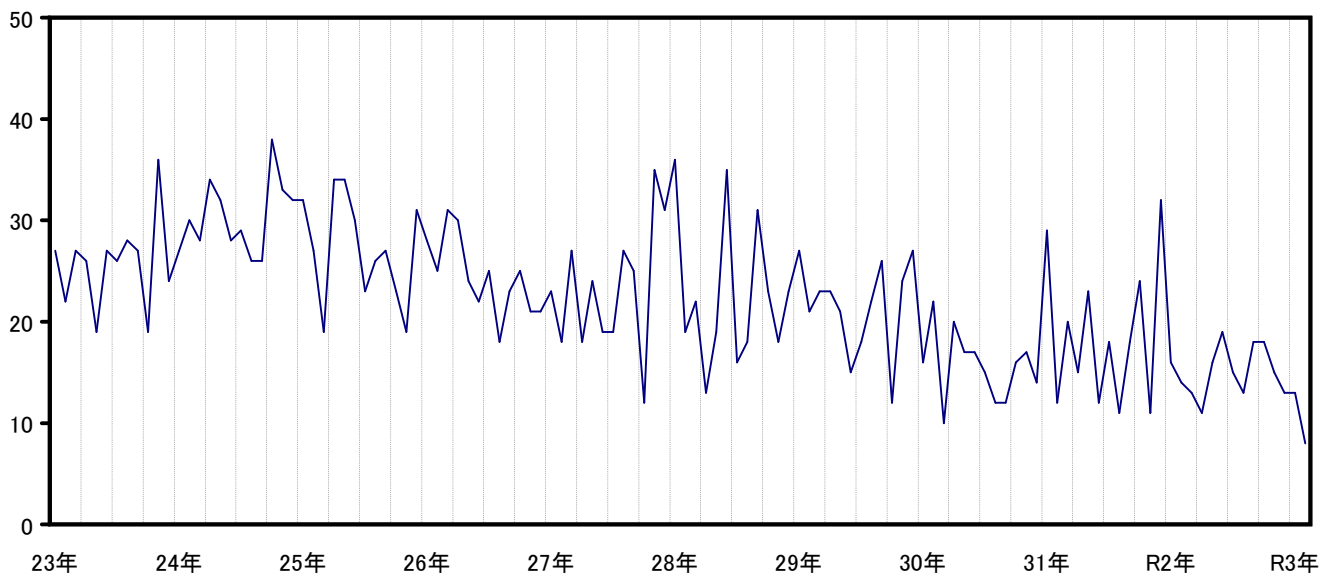


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和3年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、57,315台（前年同月比 78.1%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、11,217台（同 16.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,466台（同 20.7%減）で、8か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、9,583台（同 251.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、33,049台（同 184.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、35,789台（同 26.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、33,802台（同 184.0%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、737,420台（前年同月比 43.6%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。輸出は360,669台（同 80.3%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が4か月連続、トラックが5か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は449億円（前年同月比 9.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は385千台（同 8.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,350千台（同 7.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。業務用は86千台（同 8.7%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、1,106千台（同 19.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、820千台（同 20.7%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は74.1%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,349億8,300万円（前年同月比 93.4%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は895億9,800万円（同 99.2%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが421億4,900万円（同 75.5%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。内需は453億8,500万円（同 82.9%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「仕事量は少し増加しているが、材料費が値上がり販売価格は据え置き状態で、仕事が出てきても収益は悪くなる傾向がある。」「部品の入りが悪いため生産に影響が出てくることが予測される。」「半導体調達懸念から、発注先からは5～6ヶ月先までの在庫手当てを指示されている。」「品質低下を来さないよう質の悪い部品を掴まないよう注意を受けている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、54億9,352万円（前年同月比52.9%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが33億3,422万円（同96.4%増）で、国内向けが21億5,930万円（同13.9%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,438台（同27.2%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,358台（同22.6%増）、グランドピアノが1,080台（同38.5%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,862台（同46.5%増）、国内向けが994台（同61.9%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、1,853千トン（前年同月比6.0%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は892千トン（同7.2%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。板紙は961千トン（同4.9%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、459千トン（同9.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、151千トン（同2.3%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,027千箱（前年同月比3.3%減）と4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は715千箱（同5.4%減）と5か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は487千箱（同10.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は312千箱（同2.0%増）と2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,698千箱（同9.2%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、664千㎡（前年同月比0.2%増）で、26か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、596千㎡（同1.4%増）で、28か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、67千㎡（同9.7%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、14千㎡（同34.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、40億9,716万円（前年同月比3.0%減）と3か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、577億4,747万円（同11.5%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,878百万円（既存店前年同月比0.1%減）と前年同月の実績を下回った。身の回り品、飲食料品、家庭用品の品目で、売上げが前年同月と比較して減少した。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、家庭用品が低調だったものの、宝飾品・貴金属等、特選品の好調により、売上げが前年同月と比較して増加した。来客数も昨年度と比較して増加している。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、店舗改装に伴うテナント休業及び衣料品の低調による売上減を飲食料品及び身の回り品の伸びによって補い、売上げは前年同月と比較して、ほぼ変わらなかった。インターネットで商品を注文し、家庭まで配達するネットスーパーの需要が大きく伸びている。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、飲食料品、映画館等サービス施設、飲食店の好調により、売上げが前年同月と比較して増加した。雑貨・服飾品の品目は低調であった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和3年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約25万人で、前年同月比12.3%増となった。</p> <p>前年は、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、梅雨明けが8月となったことにより客数を引き下げた一方で、本年は本県独自の「今こそ！しずおか!!元気旅!!!」を7月12日から再開（7月5日～7月29日までに予約した分が対象）したことなどにより、対前年同月比が増であったと考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約61万台となり、前年同月比25.0%増となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	20,803	17,648	21,234	25,160	29,543	23,811	16,652	22,864	22,599
前年同月比(%)	▲ 21.3	▲ 27.3	▲ 18.8	▲ 3.2	43.2	28.9	245.4	86.3	63.1
KD輸出額(百万円)	1,147	1,590	1,399	1,689	1,396	1,376	785	1,066	1,166
前年同月比(%)	▲ 37.2	3.0	9.5	8.3	▲ 8.4	27.3	2,321.4	102.8	126.7

<楽 器>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	2,814	2,848	2,159	2,716	3,003	3,133	2,621	3,331	3,064
前年同月比(%)	▲ 15.9	▲ 8.1	▲ 29.5	0.3	▲ 5.2	56.9	131.9	56.5	31.8

<缶詰>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	1,001	960	828	912	1,013	1,063	966	1,117	1,027
前年同月比(%)	▲ 9.8	▲ 3.3	▲ 5.1	8.4	0.7	▲ 9.4	▲ 12.6	▲ 2.4	▲ 3.3
うち水産缶詰(%)	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 7.6	8.6	▲ 4.4	▲ 13.4	▲ 16.0	▲ 7.9	▲ 5.4
農畜産缶詰(%)	0.1	9.0	▲ 0.8	7.9	11.1	1.1	▲ 2.8	13.4	2.0
飲料缶生産高(千ケース)	5,983	6,107	4,662	5,164	7,768	8,200	7,865	7,478	7,698
前年同月比(%)	▲ 16.4	3.3	▲ 4.6	▲ 14.0	▲ 6.0	5.9	12.6	4.0	▲ 9.2

<織 維>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	787	729	788	749	714	703	661	683	664
前年同月比(%)	▲ 48.6	▲ 47.2	▲ 39.5	▲ 38.4	▲ 38.6	▲ 31.6	▲ 12.5	▲ 6.7	0.2
小幅織物(千㎡)	17	20	20	18	18	18	15	16	14
前年同月比(%)	▲ 35.3	▲ 21.8	▲ 18.3	▲ 23.3	▲ 16.3	▲ 10.2	▲ 12.3	4.7	34.9

<観 光>

	R 2年11月	12月	R 3年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,538	1,375	715	702	1,222	1,070	1,096	908	1,355
前年同月比(%)	▲ 20.5	▲ 24.9	▲ 58.5	▲ 54.9	0.2	132.0	184.1	35.3	29.1
観光施設(10施設)入込 (千人)	476	271	206	290	377	413	430	217	251
前年同月比(%)	24.7	2.7	▲ 34.1	▲ 3.4	9.3	215.5	1,906.7	▲ 7.3	12.3
有料道路(4路線)通行量 (千台)	615	560	428	470	555	526	559	496	611
前年同月比(%)	10.5	▲ 0.8	▲ 16.4	▲ 15.4	4.3	65.5	77.1	18.1	25.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和3年9月号 通巻545号

発行 静岡県経済産業部
令和3年9月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>